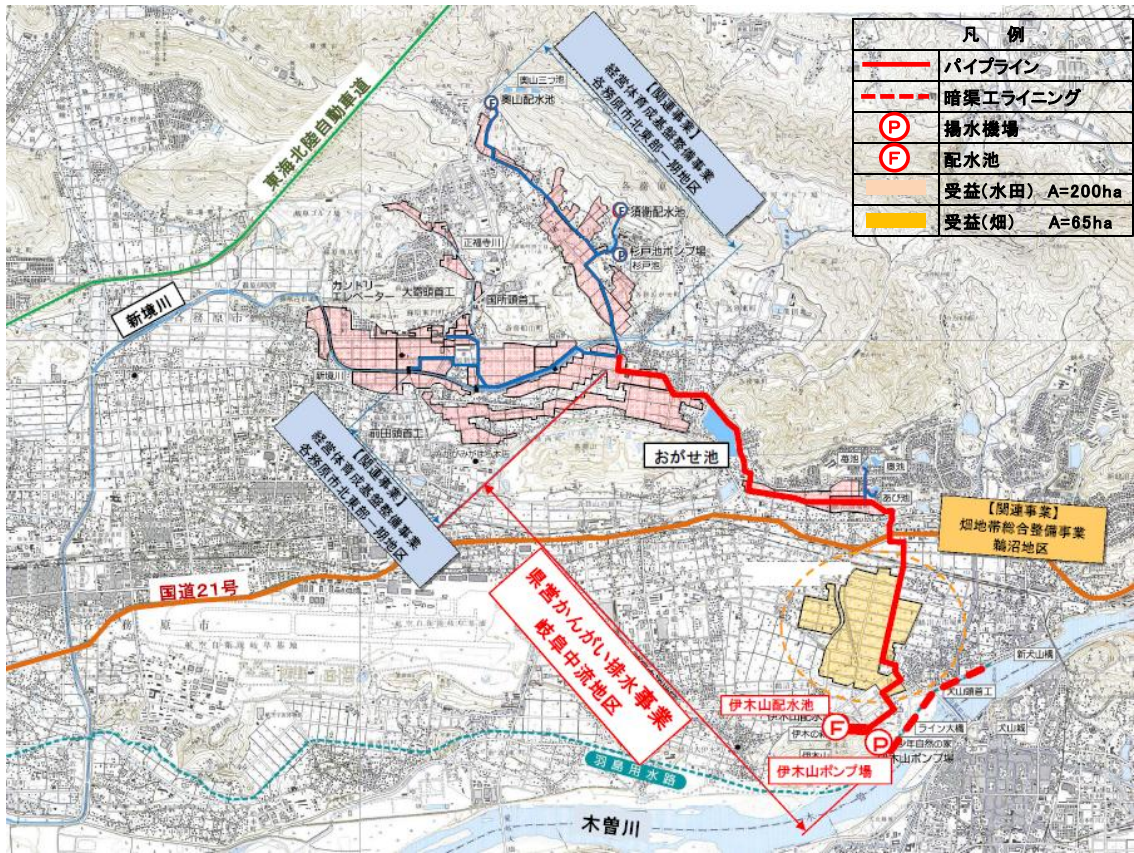


平成25年度事後評価箇所表

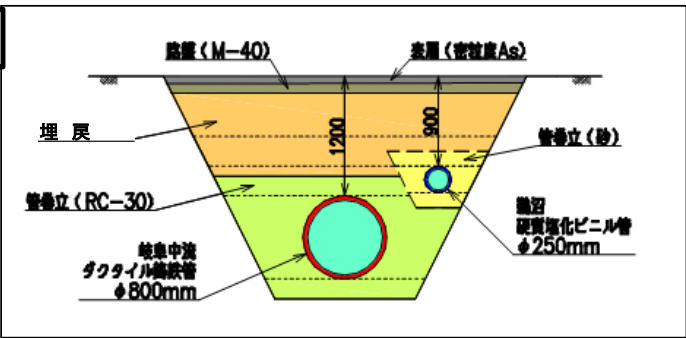
担当課〔農地整備課〕

番 号	1	事業名 (路線・河川名等)	県営かんがい排水事業 (岐阜中流地区)	
事業実施箇所	各務原市 鶉沼・須衛・蘇原地内		全体事業費	(当初2,522百万円) 2,190百万円
採択年度	平成12年度		完了年度	平成23年度
事後評価の実施基準	全体事業費5億円以上で、事業完了後概ね1年経過したもの			
事業目的	<p>本事業により揚水機場、配水池及びパイプラインを新設し、岩屋ダムに確保した農業用水0.65m³/sを安定供給することにより、安定した農業用水の確保が可能となり、にんじん栽培を主体とする畑作や水田営農の農業生産性及び品質の向上を図るとともに農業経営の安定化と発展を図る。</p>			
事業概要	<p>事業量：用水路工 パイプライン(ダクタイル鋳鉄管)φ600～φ800 L=6,960m 揚水機場 1箇所(Q=0.65m³/s,縦軸斜流ポンプ4台：φ400 1台, φ300 1台,φ150 2台) 配水池 1箇所(貯水量V=758m³：幅8.0m×長さ23.7m×水深4.0m) 取水工 暗渠工(羽島用水ライン工) L=1,580m</p>			
概要図	<p>※ 次頁のとおり</p>			

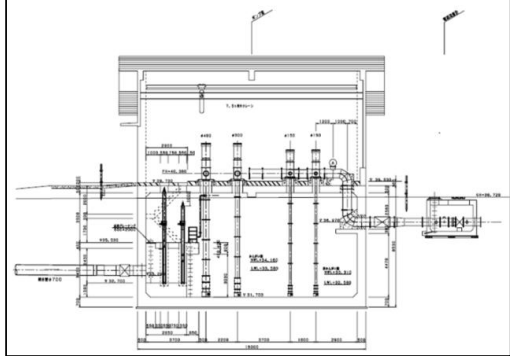
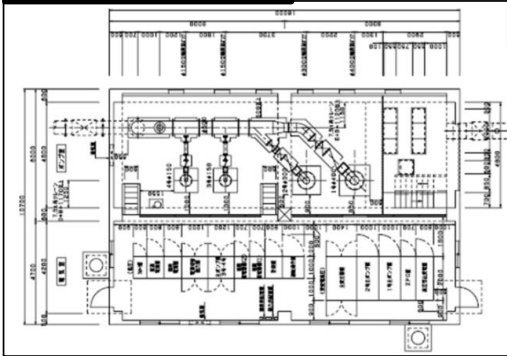
県営かんがい排水事業 岐阜中流地区 概要図



横断面図



伊木山ポンプ場



評価結果	
①住民参加・協働による効果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の間接効果としては、岐阜中流用水の補給によるおがせ池の水質浄化がある。 ・ おがせ池は、各務原市北東部に位置する農業用ため池で、岐阜中流地区の水田の貴重な農業用水の水源となっている。 ・ しかし、生活雑排水の流入により、おがせ池の水環境は悪化した。 ・ 岐阜中流地区では、おがせ池を調整池として利用する計画であり、木曾川の清浄な水を補給することにより、池の水質が浄化された。 ・ また、住民組織が中心となり、スイレンの保全活動を行うことにより、水質浄化（窒素・リンの除去）につながった。
②事業の効果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 鵜沼地区において、かんがい時の給水にかかる労働時間の削減につながった。 また、にんじん栽培の発芽率が向上し、収穫量・品質（商品化率の向上）が安定するようになった。 ・ 鵜沼地区、須衛・蘇原地区とも農業用水が安定供給できるようになったことにより計画的な営農ができるようになった。
③環境面への配慮	<ul style="list-style-type: none"> ・ おがせ池において、以前より課題であった水質汚濁対策について、本用水の補給による希釈効果により浄化することができた。 ・ 伊木山区域内のパイプライン工事において、樹木の伐採が必要であったが、文化財保護法や自然公園法区域内でもあり、撤去した樹木による、株の再移植により復元を行った。
④事業を巡る社会経済情勢の変化	<ul style="list-style-type: none"> ・ 鵜沼地区において、かんがい条件が改善され、計画的な給水が可能となり、これにより花卉（バラ・パンジー）など新たな新規作物の導入につながった。 ・ 北東部地区において、各圃場のかんがい条件が改善されたことにより、事業前の地区内の農地利用集積面積は20.0ha（担い手9戸）であったが、本事業を契機に事業完了後の農地利用集積面積が47.5ha（担い手28戸）となった。
⑤利用者・地域住民等への効果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 鵜沼地区において、労働時間の短縮及び計画的な営農が可能となった。 ・ 須衛・蘇原地区においても、計画的な営農が可能となった。また、各圃場のかんがい条件が改善されたことにより、農地流動化が促進された。

⑥対応方針（案）

【今後の事後評価の必要性】

農業用水の利用状況や施設の管理状況から事業の所期の目的は達成されており、また、アンケート等による総合評価の結果、受益者の8割が「本事業によって農業用水量の確保が図られた。」と回答され、有益な事業であったと考察されるため、今の段階では、今後の事後評価の必要性はないと思われる。

【改善措置の必要性】

今の段階では、必要性はないと思われる。

【新規事業へ適用すべき留意点】

施設管理の負担軽減・分散化のため、地域住民協働による維持管理体制の構築に努める。

また、事業実施にあたっては、施設機能を適正に発揮させるため、事前に農家だけではなく地域住民の意見も聞き、計画づくりを進める。